

2026 年 10 月 16 日

報道関係者各位

APAMAN 株式会社

【APAMAN】集合住宅の粗大ごみ放置、注意喚起後 3 日で撤去 映像管理システムの活用事例を公開 ～ごみ置き場の管理課題に取り組む～

APAMAN 株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：山崎 戒、以下「APAMAN」）は、APAMAN グループの株式会社プレストサービスが管理する集合住宅における、クラウド AI 映像監視システムの活用事例を公開します。

本事例では、管理担当者が映像を通じて粗大ごみの放置を確認し、掲示物によって撤去を呼び掛けたところ、掲示から 3 日後に当該粗大ごみが撤去されていることを確認しました。

APAMAN は、グループの管理現場で得られた事例を共有することで、ごみ管理に課題を抱える管理会社や賃貸住宅オーナーに、映像を活用した対応方法を紹介します。



■ 集合住宅のごみ管理に伴う、状況確認や注意喚起の負担

集合住宅では、粗大ごみの放置や指定日時以外のごみ出し、外部からのごみの持ち込みなどが発生すると、管理担当者による状況確認、注意喚起、撤去手配などの対応が必要になります。撤去費用が生じる場合もあり、共用部の美観や衛生環境の維持とともに、管理上の課題となっています。

今回の対象物件でも粗大ごみの放置が課題となっており、クラウド AI 映像監視システムを試験運用し、映像による状況確認と管理担当者による注意喚起を組み合わせ対応しました。

■ 映像で放置を確認し、掲示による注意喚起から撤去へ

1. 映像を通じて粗大ごみの放置を確認

管理担当者がシステムの映像を確認し、粗大ごみの放置を把握しました。

2. 撤去を呼び掛ける掲示物を設置

管理担当者が現場に掲示物を設置し、粗大ごみを放置しないよう注意喚起するとともに、置いた方に撤去を呼び掛けました。

3. 掲示から 3 日後に撤去を確認

掲示から 3 日後、当該粗大ごみが撤去されていることを確認しました。

【関連動画】

動画 URL : <https://youtu.be/O8LwGhY4gOI>

■ 事例概要

項目	内容
対象物件	恵比寿
管理会社	株式会社プレストサービス
活用システム	クラウド AI 映像監視システム
導入時期	2026 年
運用区分	試験運用
管理上の課題	粗大ごみの放置
実施した対応	映像による状況確認、掲示物による撤去の呼び掛け
確認した結果	掲示から 3 日後に当該粗大ごみの撤去を確認

※本事例は、映像の活用と管理担当者による注意喚起を組み合わせた、特定の物件における対応結果です。システム単独の効果や、すべての物件で同様の結果が得られることを保証するものではありません。

■ 管理会社・賃貸住宅オーナー向けの資料請求・導入相談

集合住宅のごみ管理への活用や、映像監視システムの導入をご検討の管理会社・賃貸住宅オーナーの皆さまは、以下のフォームからお問い合わせください。

資料請求・導入のご相談はこちら : <https://forms.gle/Zr7TRfPMXwoPK4mo6>

【APAMAN株式会社】

APAMAN株式会社（東京都中央区、代表取締役社長：山崎 戒）は、日本最大級の店舗数を誇る「アパマンショップ」ブランドの賃貸斡旋フランチャイズ（FC）事業を展開する企業です。全国の店舗ネットワークを通じて、お客様のお部屋探しだけでなく、地域に根ざしたイベント協力や街の賑わい創出に取り組んでいます。

URL：<https://apamanshop-hd.co.jp/corporate-group/>

【本プレスリリースに関するお問い合わせ先】

APAMAN 株式会社 広報担当

東京都千代田区丸の内 1-8-1 丸の内トラストタワーN館 19 階

Tel : 0570-058-889

＊ ＊ APAMAN グループのニュースリリースはこちら ＊ ＊

<https://apamanshop-hd.co.jp/ir/news/>